

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	0024		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	総合英語Forest Extensive English Grammar in 47 Lessons 7th Edition (桐原書店)				
担当教員	石水 明香				
到達目標					
1. 前期中間試験： 仮定法、疑問詞、否定の文法を理解し、正確に運用できる。 2. 前期末試験： 話法、名詞構文、無生物主語、特殊構文、名詞、冠詞の文法を理解し、正確に運用できる。 3. 後期中間試験： 代名詞、形容詞、副詞、前置詞の文法を理解し、正確に運用できる。 4. 学年末試験： 接続詞、句と節、時制の一致、分詞形容詞の文法を理解し、正確に運用できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (3) JABEE基準 (a) JABEE基準 (f) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 A-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-2					
教育方法等					
概要	これまでに学習してきた文法の理解をより深め、正確な英語の2技能（読み・書き）の習得を目指す。文法を単元別に学習することにより、各単元の知識を深め、将来必要とされる文法分析力、英語表現力の育成を図る。英文読解IIIと連携をとりながら、総合的な英語力を高める。				
授業の進め方・方法	既習の文法単元をより深く理解するために、まずは確認テストでどの程度文法力が備わっているかを各自で把握した上で、授業に臨んでもらう。理解できていない点を明らかにするべく授業に参加し、その学習内容の定着を図るために小テストを実施する。				
注意点	関連科目 英語読解III 学習指針 到達目標を達成するためにも、授業の予習復習は必ず行い、積極的に英語学習に臨むこと。				
学修単位の履修上の注意					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第28章	仮定法と仮定法を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。	
		2週	第29章	仮定法と仮定法を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。	
		3週	第30章	仮定法と仮定法を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。	
		4週	第31章	疑問詞と疑問文を理解し、正しく運用することができる。	
		5週	第32章	否定を理解し、正しく運用することができる。	
		6週	第33章	否定を理解し、正しく運用することができる。	
		7週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
		8週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
	2ndQ	9週	第34章	話法を理解し、正しく運用することができる。	
		10週	第35章	名詞構文・無生物主語を理解し、正しく運用することができる。	
		11週	第36章	強調・倒置を理解し、正しく運用することができる。	
		12週	第37章	挿入・省略・同格を理解し、正しく運用することができる。	
		13週	第38章	名詞を理解し、正しく運用することができる。	
		14週	第39章	冠詞を理解し、正しく運用することができる。	
		15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
		16週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
後期	3rdQ	1週	第40章	代名詞を理解し、正しく運用することができる。	
		2週	第41章	代名詞を理解し、正しく運用することができる。	
		3週	第42章	形容詞を理解し、正しく運用することができる。	
		4週	第43章	副詞を理解し、正しく運用することができる。	
		5週	第44章	前置詞を理解し、正しく運用することができる。	
		6週	第45章	前置詞を理解し、正しく運用することができる。	

		7週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		8週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。
	4thQ	9週	第46章	接続詞を理解し、正しく運用することができる。
		10週	第47章	接続詞を理解し、正しく運用することができる。
		11週	付録2	句と節を理解し、正しく運用することができる。
		12週	付録3	時制の一致を理解し、正しく運用することができる。
		13週	付録4	S V Cを理解し、正しく運用することができる。
		14週	付録5	S V O Cを理解し、正しく運用することができる。
		15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		16週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後9,後10,後12,後13,後14
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	0	0	0	0	0	20	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20